



コミュニティソーシャルワーカー

C S W 通信

2026年

10月号

CSW(コミュニティソーシャルワーカー)とは・・・

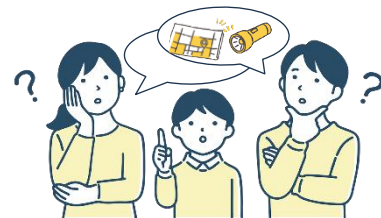
福祉に限らず暮らしのこと全てのご相談に対して、一人ひとりの生活や思いに寄り添いながら、地域のみなさんや関係機関・団体等と協力して、解決に向けたお手伝いをしています。CSWは、8か所の区民ひろばに常駐しています。

※豊島区より受託

豊島区民協キャラクター
ふくじい

第1回CSW事業講演会 開催報告(R8.8.29)

つながりの力で災害を乗り越えよう！ ～災害と地域防災活動について～



オープニングトーク

豊島区民社会福祉協議会 災害支援コーディネーター
大竹 宏和



今後、まちの地域課題や、住民の生活課題を把握し、解決するために、さまざまな関係団体との連携も考える必要

東日本大震災や能登半島地震、八丈島豪雨災害などの被災地における支援活動の写真を見ながら、被災地の地域住民やまちの様子について、お伝えしました。

被災後の避難所や自宅等における生活環境の変化等が災害関連死に影響しているという根拠資料を示した上で、災害関連死を防ぐためには何ができるか、私たち一人ひとりが考える必要がある、とお話しました。



メイントーク

大正大学地域構想研究所 研究員
佐藤 和彦 氏



被災地では困っている人に寄り添う
伴走支援が求められている
支援に入ってくる専門チームと困っ
ている人をつなぐ、地域の方の力が必要

※熊本地震支援のため、現地からのオンライン講演

はじめに、豊島区で起こりうる災害リスクや被害想定のほか、熊本県内で「罹災証明コーディネーター」として活動されている現場の「いま」についてご説明いただきました。

次に、防災の基本である「自助・共助・公助」についてお話いただきました。特に、災害発生時には「誰がどこに住んでいて、どのような生活をしているのか」を、日常的な交流を通じて地域住民同士が知っているかどうかが重要であり、過去の災害現場でのエピソードを交えて教えていただきました。

最後に、地域のつながりで災害を乗り越えるための取り組みとして、「個別避難計画」の作成が挙げられました。自宅やご家族の状況を見直し、いざというときに近隣同士で協力して避難できるよう、日頃から話し合える機会を作っていくことが大切である、とお話がありました。



おしゃべり
タイム



いつ、どこで何が起こるか分からない
我がごととして考える機会になった

日頃から近隣ともつながりたいが、プライバシー
保護の観点で敷居の高さも感じる

昨年度、佐藤氏の開催したワークショップで地形の
ジオラマを作成し、地域の地形について知ること
も大切だと思った

若い人ともつながっていききたい。町会のSNS
グループを作成して、情報発信を行っている



当日は、10代～70代以上の幅広い世代の49名に参加いただきました。これまであまり地域とのつながりがなかったという方の参加もあり、活発な意見交換が行われました。

講演を通じて、改めて「日頃から地域でできること」を考えていく必要性を感じました。

閉会時に、熊本地震や千葉豪雨への「支援金」の寄附を呼びかけたところ、なんと「26,600円」もの募金をいただきました。この支援金は、被災地で支援活動を行う団体の取り組みに活用されます。

無料 予約不要

暮らしの何でも相談会

10/3(土)
11:00~12:00
(ハロウィンDAY)
@区民ひろば要
(要町1-7-8)

10/8(木)
10:00~11:00
(ハッピーアワー)
@区民ひろば高松
(高松2-25-9)

10/30(金)
10:00~12:00
(文化祭)
@区民ひろば千早
(要町3-7-10)

※上記日程以外でも、随時ご相談を受け付けております。下記連絡先よりお問い合わせください。



クローズアップ！ 地域活動



豊島区西部圏域の地域の方も協力している「ペガーボール体験会」が
7月、8月に「ふるさと千川館」にて開催され、CSWも参加しました。

主に区内西部圏域の障害児支援施設を利用する子どもたちが、ペガーボールを楽しんでいました！
この体験会を主催した「一般社団法人日本ペガーボール協会」代表理事の徳田鉄朗氏にお話を伺いました。

ペガーボールはどんなスポーツですか？

「重度の知的障がいを持つ人も楽しめるスポーツを」という想いから福岡で生まれました。
ペガーとは「くつつく」という意味で、ポンチョを着た鬼役めがけて、クッションボールを
投げる簡単なスポーツです。豊島区をはじめとした地域のイベントや、小学校や特別支援
学校などで活動しています。

障がいを持つ児童の保護者が孤立しやすいという現実もある中、保護者にも一緒に
ペガーボールを楽しんでもらうことにより、保護者同士の交流も生まれています。



活動を通して印象に残った出来事がありますか

小学校での体験会では、普通級と支援級の児童が合同チームを組みました。
今まで互いに関わりが少なかったものの、ボールの付け方などを教える中で
自然と交流が深まる姿を目にしました。
また、重度障がいを持つ児童が床に置かれた的にボールを落として当てると、
ボールを目で追いながら笑顔を見せていました。その児童の保護者から
「こんな笑顔見たことない」と話を聞き、とても嬉しかったです。

地域の皆さんへメッセージ！

ペガーボールでは難しいことはせず、できることを前向きな気持ちで取り組
んで、参加者に「スポーツは楽しい」と感じてもらいたいです。これからも全国
の小学校や特別支援学校に普及していきたいと考えています。
そして、地域でペガーボールができる場所や環境がもっと必要です。
地域の皆さんには、ペガーボールと一緒に楽しんでもらい、その魅力を広め
ていただきたいです。将来的に地域の小学校や特別支援学校にペガーボール
セットが行き渡り、ペガーボールを通した多くの関わりが生まれてほしいです。



～今後の豊島区での体験会～

10/11(日)13:00～「スポーツにチャレンジ&防災フェスタ」 @豊島体育館
10/12(月・祝)10:00～「としまスポーツまつり」 @豊島区立総合体育場
お問合せは右記のホームページより→

一般社団法人日本ペガーボール協会
代表理事 徳田 鉄朗氏
<https://pegarball.jp>

社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会

CSW 西部圏域担当（区民ひろば千早内） 藤田・米川

開所時間 月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始除く）

TEL:03-6685-9930

メールアドレス: csw_chihaya@t.toshima.ne.jp

社協公式SNS



メールアドレス
読み取りコード



豊島区民社協西部圏域CSW

LINE ご登録ください！

西部圏域CSWは
公式LINEでCSW通信や
この地域の様々な情報を
発信しています。
ぜひご登録ください。

